

# からだの しくみを知ろう

## X線写真 (レントゲン写真) のお話

放射線技師  
中村 伸幸



今回はX線写真(レントゲン写真)のお話です。

X線写真とは、人体にX線を照射した際に、体の中を透過したX線が人体を構成する物質により透過の度合いに差が生じることで、それが白黒の濃度差を形成し画像となってあらわれるという検査です。密度が高い物質ほどX線を透過しにくく白く写ります。日光写真と同じ原理です。

胸部X線写真では、まず体の輪郭がぼんやり白っぽく写り、骨はさらに白く写り、肺や気管支は空気の像として黒く写ります。心臓や血管は血液が流れており、それなりに密度があるので白い陰影として写ります。

